

(様式第1号)

自己評価及び外部評価結果票

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4191200023		
法人名	株式会社 メデカジャパン		
事業所名	さがケアセンターそよ風		
所在地	佐賀県三養基郡上峰町大字坊所字大塚1523-53		
自己評価作成日	平成22年8月6日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigojohou-saga.jp/kaigosip/Top.do
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 佐賀県社会福祉協議会		
所在地	佐賀県佐賀市鬼丸町7番18号		
訪問調査日	平成22年8月24日	外部評価確定日	平成22年9月15日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

利用者様の生活リズムに配慮した支援を行っています。起きたい時に起きていただき、食事もおの方の都合に合わせて提供しております。入浴時間も利用者様の好きな時間に出来る様にしています。利用者様に寄り添う支援を大切に行っております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

幹線道路から少し離れた閑静な住宅地に位置するグループホーム。デイサービス、ショートステイ(20床)を併設した建物にある。グループホーム事業所として医療面の充実に力をいれている。協力病院の選定も専門科目毎に3箇所を選定し、町内の医院からの往診が実施されている。利用者へのサービスも、開設5年目に入り業務内容も見直し、体制を一新し管理者をはじめスタッフも新たな気持ちで取り組んでいる。

自己評価および外部評価結果

〔セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。〕

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(つばき) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(さるびあ) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営						
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	ケアセンターそよ風の理念を基盤に地域密着型サービスの役割を反映した事業所独自の理念を職員と作り上げている。	ケアセンターそよ風の理念を基盤に地域密着型サービスの役割を反映した事業所独自の理念を職員と作り上げている。	毎朝の申し送り・ミーティング時、月1回の職員全体会の折に「ケアセンターそよ風」の理念を唱和するように努めている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	法人で自治会に加入しており、回覧板等も届けられ、地域の清掃活動や子ども110番の家などの地域活動に参加している。	法人で自治会に加入しており回覧板等も届けられている。介護度の高い入居者様が多くなれば地域活動に参加できにくくなっている。	施設全体で地区の自治会にも加入し、回覧板も回ってくるようになった。「夏祭り」や各種のイベントの際にも運営推進会議等を通じて案内をしており、「地域に開かれたホームでありたい」とのスタッフの意欲が感じられる。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	事業所の夏祭りや設立記念日の催し、勉強会等には地域の方々を招き交流を図っている。	事業所の夏祭りや設立記念日の催し、勉強会等には地域の方々を招き交流を図っている。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議には行政や地域の方等多方面からの参加があり有意義な会議が行われている。ホームの状況や活動報告及び今後の取り組みについて話し合い	会議には行政や地域の方等多方面からの参加があり有意義な会議が行われている。ホームの状況や活動報告及び今後の取り組みについて話し合い	運営推進会議は2ヶ月に1回開催されている。内容は報告、行事予定が主ではあるがきちんと議事録も整理されている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	地域推進会議を開催したことをきっかけに、更に行政との関係も良好となり、日頃より情報交換、相談等を行いサービスの質の向上に取り組んでいる。	地域推進会議を開催したことをきっかけに、更に行政との関係も良好となり、日頃より情報交換、相談等を行いサービスの質の向上に取り組んでいる。	運営推進会議には町役場、包括センターからの出席もあり、利用者の手続き等でも町役場を訪れ連携が図られている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	施設全体で拘束における弊害を理解するため、身体拘束廃止委員会を発足し、新人職員への教育にも力を入れている。ホームが3階という環境から、安全の為、玄関は施錠している。	安全帯とベッド柵の使用有、入居者様の状態の維持・安全の確保の為、時間と状況を記録に残している。ホームが3階という環境から、安全の為玄関も施錠している。	グループホームが建物の3階に位置している関係で出入口には施錠がなされている。又、「さるびあ」棟においては車椅子で抑制帯が見受けられる。	建物の最上階部分で階段、エレベーター等の危険は考えられるが職員の配置、地域との連携、家族の協力等により利用者の自由な暮らしを大切にしたいケアの実践に向けた取り組みを期待したい。
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止委員会を開催し、常に事業所内での虐待が見逃ごされることがないように防止に努めている。研修の機会があれば参加している。	虐待防止委員会を開催し、常に事業所内での虐待が見逃ごされることがないように防止に努めている。研修の機会があれば参加している。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(つばき) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(さるびあ) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	管理者や職員は日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合いそれらを活用できるように支援していきたいと思い、学習中である。	管理者や職員は日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合いそれらを活用できるように支援していきたいと思い、学習中である。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約の際に入居者様やご家族等に説明を行い疑問点を尋ね再度、理解・納得を図っている。また、その都度分からない点等は説明している。	契約の際に入居者様やご家族等に説明を行い疑問点を尋ね再度、理解・納得を図っている。また、その都度分からない点等は説明している。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議の際は必ず、入居者様やご家族の意見を求めるようにしている。また、随時入居者様やご家族の意見を会議の際に伝えている。	運営推進会議の際は必ず、入居者様やご家族の意見を求めるようにしている。また、随時入居者様やご家族の意見を会議の際に伝えている。	利用者への家族の面会の折、担当スタッフとの会話の中で家族の意見を聞き、又定期的に開かれている家族会等でも運営推進会議への出席をお願いし、家族の意見を運営に反映させるように努めている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月1回全体会議を開催し、代表者や管理者は職員の意見や提案を聞く機会を設けて、反映している。	毎月2回全体会議を開催し、代表者や管理者は職員の意見や提案を聞く機会を設けて、反映している。	施設全体で毎月1回職員全体会を催し、又グループホーム単独で毎月職員連絡会を開き、職員相互のコミュニケーションに努めている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	シフトは職員の希望を出来るだけ反映して、余暇を上手く使えるように配慮している。給与については面談を設け、勤務状況や個々の努力や実績を把握し評価した内容を伝え、やりがいや各自が向上心を持って働けるように条件の整備に努めている。	シフトは職員の希望を出来るだけ反映して、余暇を上手く使えるように配慮している。給与については面談を設け、勤務状況や個々の努力や実績を把握し評価した内容を伝え、やりがいや各自が向上心を持って働けるように条件の整備に努めている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修委員会を発足し、施設内外の研修にも積極的に参加する機会が大幅に増え職員の研修に対する意欲の向上が見られる。	研修委員会を発足し、施設内外の研修にも積極的に参加する機会が大幅に増え職員の研修に対する意欲の向上が見られる。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム連絡協議会に加入しており、研修会や会議の折には他の事業所と情報交換を行っている。また、近隣の事業所は利用者も交えた相互訪問を行いサービスの質の向上に取り組んでいる。	グループホーム連絡協議会に加入しており、研修会や会議の折には他の事業所と情報交換を行っている。また、近隣の事業所は利用者も交えた相互訪問を行いサービスの質の向上に取り組んでいる。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(つばき) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(さるびあ) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援						
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	アセスメントを取りながらゆっくりとお話を聞くことで入居者様が困っていること、不安なこと、要望などが理解できそれらを通じ、安心を確保する関係作りが出来るように努めている。	アセスメントを取りながらゆっくりとお話を聞くことで入居者様が困っていること、不安なこと、要望などが理解できそれらを通じ、安心を確保する関係作りが出来るように努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族との面会時やお電話などでご家族が困られていることや不安なこと、要望等に耳を傾けながら信頼関係を築いている。	ご家族との面会時やお電話などでご家族が困られていることや不安なこと、要望等に耳を傾けながら信頼関係を築いている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	居宅の介護支援専門員さんと連携を取り、情報収集に努めご本人やご家族と面談して支援を見極めるように努力している。	居宅の介護支援専門員さんと連携を取り、情報収集に努めご本人やご家族と面談して支援を見極めるように努力している。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	入居者様のその時の心の変化や体調により、暮らしのあり方も違ってくのでその変化を大切に寄り添って生活が共に出来る様に努めている。	入居者様のその時の心の変化や体調により、暮らしのあり方も違ってくのでその変化を大切に寄り添って生活が共に出来る様に努めている。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時や家族会などのときに声かけしてご家族の思いや近況などを聞き、ご本人とご家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	面会時や家族会などのときに声かけしてご家族の思いや近況などを聞き、ご本人とご家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	面会に馴染みの方々が来られる事が多く、お帰りの際は又是非来ていただきたいことをお伝えしている。馴染みの場所は定期的に訪れるようにしたいと思っているが現在は出来ていない。	面会に馴染みの方々が来られる事が多く、お帰りの際は又是非来ていただきたいことをお伝えしている。馴染みの場所は定期的に訪れるようにしたいと思っているが現在は出来ていない。	昔馴染みの方が尋ねて来られた時は利用者の居室等でゆっくりお話していただき、お手紙や電話の可能な方は利用者毎に馴染みの関係が保たれるように工夫している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	席割りや役割をお1人お1人配慮して決めており、入居者様同士が関わり合い支えあえるように支援に努めている。	席割りや役割をお1人お1人配慮して決めており、入居者様同士が関わり合い支えあえるように支援に努めている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(つばき) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(さるびあ) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	新しい環境からの問合せや、ご親戚等の問合せについても、ご家族の了解を得てお答えできる範囲は対応している。	新しい環境からの問合せや、ご親戚等の問合せについても、ご家族の了解を得てお答えできる範囲は対応している。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント						
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	居室での検温時や個別にゆっくりと向き合える時間に希望や臣を把握するようにしている。把握が困難な場合はご家族に尋ねたりこれまでの資料を参考にして検討している。	居室での検温時や個別にゆっくりと向き合える時間に希望や臣を把握するようにしている。把握が困難な場合はご家族に尋ねたりこれまでの資料を参考にして検討している。	入居時のアセスメント等で利用者の生育歴、職歴等についてご本人、家族より情報を提供して頂き利用者の暮らし方の希望や意向の把握に努めている。ゆっくり向き合える時間を出来るだけ作るように業務を工夫している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	折にふれご本人より聞き取り、面会時にはご家族に聞き取り、これまでの暮らしの把握に努めている。	折にふれご本人より聞き取り、面会時にはご家族に聞き取り、これまでの暮らしの把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	入居者様の残存機能に応じ、現状の把握の為、チェックリストを用いたり、毎月の状況報告にて把握に努めている。	入居者様の残存機能に応じ、現状の把握の為、チェックリストを用いたり、毎月の状況報告にて把握に努めている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	担当者を中心に介護計画を作成している。担当者会議にご家族の参加できないことが多い為、面会時にその都度、意見やアイデアを聞き介護計画に反映できるようにしている。	担当者を中心に介護計画を作成している。担当者会議にご家族の参加できないことが多い為、面会時にその都度、意見やアイデアを聞き介護計画に反映できるようにしている。	家族会の開催時、担当者会議等を利用して出来る限り家族の出席をお願いし、家族の意見も聞きながら担当者が原案を作成し会議にかけて介護計画担当者が最終的にまとめている。今年より、計画作成及び計画作成の手続きも見直すようにしている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	記録の書き方が難しく、研修や書物などで日々学んでいる。個別記録に不十分な記入の場合、申し送りノートに記入し職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	記録の書き方が難しく、研修や書物などで日々学んでいる。個別記録に不十分な記入の場合、申し送りノートに記入し職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	その時々生まれるニーズに対応して、家族受診が出来ない時の代行や通院リハビリの送迎の支援などに取り組んでいる。	その時々生まれるニーズに対応して、家族受診が出来ない時の代行や通院リハビリの送迎の支援などに取り組んでいる。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(つばき) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(さるびあ) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	取り組みは行っていません。	取り組みは行っていません。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居者様は以前からのかかりつけ医を受診されている。ホームはそれぞれのかかりつけ医と連携を図り、適切な医療を受けられるように支援している。	入居者様は以前からのかかりつけ医を受診されている。ホームはそれぞれのかかりつけ医と連携を図り、適切な医療を受けられるように支援している。	かかりつけ医への通院があり支援をしている。家族とも相談し、利用者の了解を得られた時には特殊な病状でない限り往診も可能な協力病院での受診を支援している。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	常に看護職員に状況を伝え、指示や助言を受けている。	常に看護職員に状況を伝え、指示や助言を受けている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	協力医療機関が多数あり、入院時の付き添いや面会等で医療機関との情報交換や相談に努め、病院関係者との良好な関係作りを行っている。	協力医療機関が多数あり、入院時の付き添いや面会等で医療機関との情報交換や相談に努め、病院関係者との良好な関係作りを行っている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域との関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	終末ケアは行っていないが重度化した場合のあり方については、早い段階からご本人、ご家族と話し合いを行っている。事業所で出来る事を説明しながら方針を共有しているが、文章としての整備がまだ出来ていない。	終末ケアは行っていないが重度化した場合のあり方については、早い段階からご本人、ご家族と話し合いを行っている。事業所で出来る事を説明しながら方針を共有しているが、文章としての整備がまだ出来ていない。	開設以来まだ重度化・終末期をホーム内で迎えられた方はないが入居契約時に家族等とは話し合いが行われている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	事故発生時に備え日頃より、手当てや対応についてファイルにし書棚においている。	事故発生時に備え日頃より、手当てや対応についてファイルにし書棚においている。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	1回は消防署の指導のもとに実施している。年2回訓練を実施している。消化訓練、設備の点検、夜間想定時の確認等が毎回行われているが、まだ、地域との協力体制の確立にはいたっていない。	1回は消防署の指導のもとに実施している。年2回訓練を実施している。消化訓練、設備の点検、夜間想定時の確認等が毎回行われているが、まだ、地域との協力体制の確立にはいたっていない。	年2回の消防・避難訓練が実施されている。うち1回は消防署立会いの総合訓練である。夜間想定時の訓練も実施している。建物の3階部分であるので、怪我等の危険を考慮して避難場所は3階出入りロホール・ベランダとなっている。	夜間や職員だけの誘導の限界を具体的に確認し、地域の方々の参加や協力を得た避難訓練の実施も期待したい。

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(つばき) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(さるびあ) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)		
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
36	(14)	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	声の大きさ、言葉かけにも配慮して行っており、プライベートな質問を行う際は居室などでの聞き取りを行いプライバシーを損なわないように努力している。	声の大きさ、言葉かけにも配慮して行っており、プライベートな質問を行う際は居室などでの聞き取りを行いプライバシーを損なわないように努力している。	スタッフの対応、利用者への言葉かけ等は、トイレ誘導、食べこぼしの始末等諸事において利用者の人格の尊厳やプライバシーへの配慮が十分になされている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	担当者会議時にご本人の思いや希望が最優先されるように働きかけている。また日常生活の中でもご本人が自己決定出来る様に働きかけている。	担当者会議時にご本人の思いや希望が最優先されるように働きかけている。また日常生活の中でもご本人が自己決定出来る様に働きかけている。			
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	1日の大まかな流れはあるが、ご本人のペースとニーズを尊重した支援に努めている。	1日の大まかな流れはあるが、ご本人のペースとニーズを尊重した支援に努めている。			
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	毎月第1、第3月曜日に出張利用が行われており、スタッフが入居者様に確認し、入居者様の希望に沿って利用されている。	毎月第1、第3月曜日に出張利用が行われており、スタッフが入居者様に確認し、入居者様の希望に沿って利用されている。			
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	月に1度はホームの「美食祭り」も企画され、より食事が楽しみなものとなるように工夫している。現在はホームでの調理は行っていないが、10月までにはホームでの調理を開始したい。	月に1度はホームの「美食祭り」も企画され、より食事が楽しみなものとなるように工夫している。現在はホームでの調理は行っていないが、10月までにはホームでの調理を開始したい。	ショートステイ、デイサービスが併設されており、食材の購入、調理等は一箇所の厨房でまとめてされている。献立は、栄養士によりカロリー計算をふまえて作成されている。	今後ホームでの調理が予定されており、元気な利用者にはそれなりの役割を担って頂き、スタッフ共々食材も購入し、調理も会話を楽しみながら、又テーブルを共に囲みながら信頼の絆を強められることを期待したい。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養のバランスは栄養士によって管理され、食事や水分摂取量も日々記録し、健康管理に活かされている。また、入居者様の体調や機能に応じて、食物の形状などにも配慮している。	栄養のバランスは栄養士によって管理され、食事や水分摂取量も日々記録し、健康管理に活かされている。また、入居者様の体調や機能に応じて、食物の形状などにも配慮している。			
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	各入居者様の残存機能に応じた声かけや歯磨き介助、義歯の洗浄など口腔ケアを毎食後行っている。訪問歯科診療も受けられている方は医療機関との連携も図っている。	各入居者様の残存機能に応じた声かけや歯磨き介助、義歯の洗浄など口腔ケアを毎食後行っている。訪問歯科診療も受けられている方は医療機関との連携も図っている。			

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(つばき) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(さるびあ) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄パターンを把握し、トイレ誘導を行うことで、トイレでの排泄を多くしている。また、尿意や便意に不安があった方も自分で訴えることが出来る様になられている。	排泄パターンを把握し、トイレ誘導を行うことで、トイレでの排泄を多くしている。また、尿意や便意に不安があった方も自分で訴えることが出来る様になられている。	排泄チェックリストにより利用者個々の排泄パターンを把握し、声かけ・誘導してトイレでの排泄を促している。夜間は安心パンツとパットを併用している利用者に対しても誘導する事により自立を促している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎日の体操に参加してもらう事で便秘の予防につなげている。食べ物も消化に良いものや調理を工夫して提供している。排便もチェックしており、個々に応じた薬の使用にて殆んどの方が普通排便みられている。	毎日の体操に参加してもらう事で便秘の予防につなげている。食べ物も消化に良いものや調理を工夫して提供している。排便もチェックしており、個々に応じた薬の使用にて殆んどの方が普通排便みられている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	ユニットごとに週3回入浴できるようにしている。曜日は決まっているが、ニーズがあれば毎日でも入浴できるようにしている。入浴時間はご本人が入りたい時間に入っていたいである。	ユニットごとに週3回入浴できるようにしている。曜日は決まっているが、ニーズがあれば毎日でも入浴できるようにしている。入浴時間はご本人が入りたい時間に入っていたいである。	ユニット毎に浴槽を用意し、基本的には週3回の入浴が守られている。時間、曜日の規制は特になく、夏場はシャワー浴も実施している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	自立度の高い方は、ご本人の意思に任せて、見守るようにしている。ご本人で判断できない方はスタッフが声かけしたり、臥床介助し休息の時間を意識して支援している。	自立度の高い方は、ご本人の意思に任せて、見守るようにしている。ご本人で判断できない方はスタッフが声かけしたり、臥床介助し休息の時間を意識して支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	常に看護師との薬の情報は共有し、症状の変化については、看護師の方より医療機関に情報提供しながら指示を受け、服薬の支援を行っている。	常に看護師との薬の情報は共有し、症状の変化については、看護師の方より医療機関に情報提供しながら指示を受け、服薬の支援を行っている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	掃除、洗濯物の干しやたたみ、手芸、読書、書道などそれぞれの利用者の生活歴や趣味を活かした支援をしている。	掃除、洗濯物の干しやたたみ、手芸、読書、書道などそれぞれの利用者の生活歴や趣味を活かした支援をしている。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	周囲は散歩コースにも恵まれており、日常的に散歩に出かけ心身の活性化を図っている。入居者様の希望に応じてドライブや買い物にも出かけている。	周囲は散歩コースにも恵まれており、日常的に散歩に出かけ心身の活性化を図っている。入居者様の希望に応じてドライブや買い物にも出かけている。	ホームの建つ地域は閑静な住宅地であり、散歩するには恵まれた広い敷地にあり、近隣への散歩に出かけたりバスハイク等で四季折々に出かけている。	

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(つばき) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(さるびあ) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金はスタッフが管理しているが、買い物に出かけた時、レジにてご本人が出せるように支援している。	お金はスタッフが管理しているが、買い物に出かけた時、レジにてご本人が出せるように支援している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご本人が電話を掛けたいと言われれば電話を繋ぎ気持ちよく話せるように段取りしてから渡す。(携帯電話を使用されている方もある。)	ご本人が電話を掛けたいと言われれば電話を繋ぎ気持ちよく話せるように段取りしてから渡す。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関や居間には入居者様とスタッフで作った季節感のある貼り絵や飾りなどが飾られている。日差しもカーテンで調整し、不快な刺激にならないように配慮している。	玄関や居間には入居者様とスタッフで作った季節感のある貼り絵や飾りなどが飾られている。日差しもカーテンで調整し、不快な刺激にならないように配慮している。	ホーム出入り口から廊下、ダイニングに至るまで行事写真や貼り絵等が飾られ、月・日や季節感が感じられる。居心地良い生活空間である。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	テーブルごとに席が決まっており、自分の場所として殆どの方がその席で過ごされる事が多い。テレビの前には視聴しやすいようにソファを置いて入居者様同士で思い思いに過ごせるような場所の工夫をしている。	テーブルごとに席が決まっており、自分の場所として殆どの方がその席で過ごされる事が多い。テレビの前には視聴しやすいようにソファを置いて入居者様同士で思い思いに過ごせるような場所の工夫をしている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れた馴染みの家具などが持ち込まれ家具の配置や飾りつけ等もご家族と相談の上、入居者様1人1人が安心して過ごせるように工夫している。	使い慣れた馴染みの家具などが持ち込まれ家具の配置や飾りつけ等もご家族と相談の上、入居者様1人1人が安心して過ごせるように工夫している。	利用者・家族そしてスタッフが話し合い、使い慣れたタンス、衣装ケース、椅子等が居室には持ち込まれていた。居室によってはテレビ、仏壇等が備えられている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	全館バリアフリーとなっている。トイレと居室の戸の色を分けることにより使用する際になるべく迷われないように配慮している。	全館バリアフリーとなっている。トイレと居室の戸の色を分けることにより使用する際になるべく迷われないように配慮している。		

V. サービスの成果に関する項目(目標指標項目)アウトカム項目))(事業所記入)				
※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します				
項 目		取 り 組 み の 成 果		
		ユニットA	ユニットB	
↓ 該当するものに○印をつけてください				
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目:23,24,25)		○	1. ほぼ全ての利用者の
		○		2. 利用者の2/3くらいの
				3. 利用者の1/3くらいの
				4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目:18,38)			1. 毎日ある
				2. 数日に1回程度ある
		○		3. たまにある
			○	4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目:38)	○		1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
			○	3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目:36,37)	○		1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
			○	3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目:49)			1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
		○	○	4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目:30,31)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない

項 目		取 り 組 み の 成 果		
		ユニットA	ユニットB	
		↓ 該当するものに○印をつけてください		
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目:28)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目:9,10,19)	○	○	1. ほぼ全ての家族と
				2. 家族の2/3くらいと
				3. 家族の1/3くらいと
				4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目:2,20)	○	○	1. ほぼ毎日のように
				2. 数日に1回程度ある
				3. たまに
				4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目:4)	○	○	1. 大いに増えている
				2. 少しずつ増えている
				3. あまり増えていない
				4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目:11,12)	○	○	1. ほぼ全ての職員が
				2. 職員の2/3くらいが
				3. 職員の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	○	1. ほぼ全ての家族等が
				2. 家族等の2/3くらいが
				3. 家族等の1/3くらいが
				4. ほとんどいない